



2025年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月13日

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所 東
 コード番号 5572 URL http://ridge-i.com
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柳原 尚史
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 中井 努（TEL）03(4214)8558
 半期報告書提出予定日 2025年3月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年8月1日～2025年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期中間期	1,407	—	200	—	202	—	99	—
2024年7月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年7月期中間期 137百万円（ —%） 2024年7月期中間期 —百万円（ —%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期中間期	25.76	24.92
2024年7月期中間期	—	—

※2024年7月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年7月期中間期の対前年同中間期増減率並びに2024年7月期中間期の数値及び対前年同中間期増減率については記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期中間期	3,082	2,592	72.5
2024年7月期	3,043	2,440	69.7

（参考）自己資本 2025年7月期中間期 2,236百万円 2024年7月期 2,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年7月期	—	0.00	—	—	—
2025年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,610	—	230	—	230	—	115	—	29.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年7月期中間期	3,886,780株	2024年7月期	3,861,160株
2025年7月期中間期	46株	2024年7月期	2株
2025年7月期中間期	3,868,432株	2024年7月期中間期	3,794,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、四半期決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ホームページのIRページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（重要な後発事象）	9
（セグメント情報等の注記）	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年8月1日から2025年1月31日)における我が国経済は、雇用環境の改善が進むなど緩やかな回復傾向が見られるものの、円安による輸入コストの上昇などの影響で幅広い分野で物価上昇が続いており、実質賃金の伸び悩みや消費者マインドの停滞が経済成長を抑制しております。また、世界経済の動向や地政学リスクなどの外部要因により、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社を取り巻く国内AI市場においては、生成AI技術への注目の高まりにより、生産性向上や競争力強化を目的としたDX関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションを提案し、実装までを行っており、特に直近では生成AI関連と衛星データ利用のニーズが増加しております。また、AI技術と親和性の高いデジタルマーケティング事業において、SNS広告のプランニングから制作までとプラットフォームの配信や広告等で利用される音楽制作を展開してまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、既存顧客からのAIプロジェクトの継続、人工衛星AI解析プロジェクトの増加、生成AIテーマの案件増により、また、前連結会計年度末より株式会社スターミュージック・エンタテインメントの連結子会社化を行いデジタルマーケティング事業が加わった結果、1,407,065千円となり、売上総利益については、723,385千円となりました。

営業利益については、上記のとおり売上高の増加に伴い、200,764千円となりました。販売費及び一般管理費は外注利用、積極的な採用活動や生成AI等の新しい技術に対応するために研究開発等を継続しておりますが、売上高の増加が費用増加を上回っており、営業利益率は14.3%と好調に推移しております。

経常利益については、202,783千円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、法人税等64,862千円及び子会社の株式持分が54%のための非支配株主に帰属する中間純利益38,270千円により、99,649千円となりました。

当社グループの報告セグメントは、従来「カスタムAIソリューション事業」の単一セグメントでしたが、当中間連結会計期間より、「カスタムAIソリューション事業」と「デジタルマーケティング事業」の2区分に変更しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①カスタムAIソリューション事業

カスタムAIソリューション事業におきましては、売上高が673,482千円、セグメント利益が102,367千円となり、そのサービス別の売上高は、前期から継続している大手企業の顧客を中心としたAIプロジェクトの継続に加えて開始が遅れていた案件やコンサルティングファームとの連携による案件が進捗したことによりAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は426,535千円となりました。衛星関連プロジェクトは予定通り案件が大型化してきており人工衛星AI解析の売上高は209,588千円となりました。AIライセンス提供については大型の保守運用が継続しており売上高は37,359千円となりました。

②デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、売上高が733,582千円、セグメント利益が98,397千円となり、そのサービス別の売上高は、ソーシャルメディアマーケティングの売上高は547,987千円、音楽制作配信サービスの売上高は185,594千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は2,554,006千円となり、前連結会計年度末に比べ85,665千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が165,472千円減少した一方で継続途中のプロジェクトが増加し売掛金及び契約資産が265,520千円増加したことによるものであります。また、当中間連結会計期間末における固定資産は528,301千円となり、前連結会計年度末に比べ46,585千円減少いたしました。これは主に有形固定資産と無形固定資産の減価償却によるものであります。この結果、総資産は3,082,308千円となり、前連結会計年度末に比べ39,079千円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は433,331千円となり、前連結会計年度末に比べ98,910千円減少いたしました。これは主に前受金を受領していたプロジェクトが進捗し売上計上したことにより契約負債が121,406千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は489,988千円となり、前連結会計年度末に比べ112,911千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,592,319千円となり、前連結会計年度末に比べ151,991千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が99,649千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の業績予想につきましては、2024年9月11日公表の「2025年7月期決算短信」から変更ありません。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,116,037	1,950,564
売掛金及び契約資産	285,496	551,016
仕掛品	1,050	4,839
前払費用	22,183	25,163
その他	43,572	22,422
流動資産合計	2,468,340	2,554,006
固定資産		
有形固定資産	87,611	72,468
無形固定資産		
のれん	333,116	316,460
その他	37,882	23,086
無形固定資産合計	370,998	339,547
投資その他の資産	116,277	116,285
固定資産合計	574,887	528,301
資産合計	3,043,228	3,082,308
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,065	197,484
1年内返済予定の長期借入金	48,106	35,039
未払金	122,190	63,737
未払法人税等	18,671	59,543
契約負債	122,175	768
賞与引当金	3,379	21,109
その他	57,653	55,648
流動負債合計	532,241	433,331
固定負債		
長期借入金	47,237	33,352
資産除去債務	17,553	17,603
繰延税金負債	5,867	5,701
固定負債合計	70,657	56,656
負債合計	602,899	489,988

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,465	28,551
資本剰余金	1,945,140	1,952,226
利益剰余金	155,797	255,447
自己株式	△1	△103
株主資本合計	2,122,401	2,236,121
新株予約権	1,590	1,590
非支配株主持分	316,336	354,607
純資産合計	2,440,328	2,592,319
負債純資産合計	3,043,228	3,082,308

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
売上高	1,407,065
売上原価	683,679
売上総利益	723,385
販売費及び一般管理費	522,621
営業利益	200,764
営業外収益	
受取利息及び配当金	205
助成金収入	1,860
講演料収入	538
受取遅延損害金	989
その他	403
営業外収益合計	3,997
営業外費用	
支払利息	454
為替差損	10
固定資産除売却損	1,513
営業外費用合計	1,978
経常利益	202,783
税金等調整前中間純利益	202,783
法人税等	64,862
中間純利益	137,920
非支配株主に帰属する中間純利益	38,270
親会社株主に帰属する中間純利益	99,649

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
中間純利益	137,920
中間包括利益	137,920
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	99,649
非支配株主に係る中間包括利益	38,270

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	202,783
減価償却費	35,785
固定資産除売却損益(△は益)	1,513
のれん償却額	16,655
受取利息及び受取配当金	△205
支払利息	454
助成金収入	△1,860
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△265,520
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,788
仕入債務の増減額(△は減少)	37,419
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,730
未払金の増減額(△は減少)	△21,585
契約負債の増減額(△は減少)	△121,406
その他	15,340
小計	△86,685
利息及び配当金の受取額	205
助成金の受取額	1,860
利息の支払額	△472
法人税等の支払額	△24,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△39,958
有形固定資産の売却による収入	6,294
無形固定資産の取得による支出	△9,658
敷金及び保証金の回収による収入	1,349
その他	△1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△26,952
新株予約権の行使による株式の発行による収入	14,172
自己株式の取得による支出	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△165,472
現金及び現金同等物の期首残高	2,116,037
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,950,564

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	673,482	733,582	1,407,065	—	1,407,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	673,482	733,582	1,407,065	—	1,407,065
セグメント利益	102,367	98,397	200,764	—	200,764

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「カスタムAIソリューション事業」のみの単一セグメントでありましたが、前連結会計年度に株式会社スターミュージック・エンタテインメントの株式を取得したため当該事業を「デジタルマーケティング事業」として定義し、AIを強みとしてこの2つの事業の成長を目指すことを方針としております。これにより、当中間連結累計期間より、単一セグメントから「カスタムAIソリューション事業」と「デジタルマーケティング事業」の2区分により開示しております。